

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	16	0410	宮沢賢治生誕120年記念事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-5	芸術文化の振興			
	施策	2	先人の顕彰			
目的	賢治さんの香りあふれるまちづくり					
対象	市民、観光客					
意図	賢治および賢治のまち花巻の魅力を感じてもらう					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会負担金 2,714千円 (事業) 記念事業開催負担金						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	○ 実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標 (上記「事業概要」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			計画			
			実績			
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標 (上記「意図」に対応)		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会では、平成28年度に宮沢賢治童話村のライトアップや宮沢賢治記念館等の開館時間延長(ナイトミュージアム)、シンポジウムなどの各種事業を企画している。平成27年度は、記念事業の具体的な内容を詰め、PRの準備を行ったものである。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない より多くの市民、市外の方に賢治に興味を持ってもらうためには、賢治に触れる場を提供し、市が積極的にイベント開催に関わるとともに、情報発信する必要があり妥当である。
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 魅力的なイベントを開催し、市民及び観光客が多く参加すること、賢治情報の発信を行うことにより、賢治の作品や精神に触れる機会が増大すると考えられる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない 実行委員会構成団体のそれぞれの得意分野を生かし、自営が可能な部分は、実行委員会において実施。また、国等の補助を最大限に活用し、一般財源の削減を図る。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である 市民・市外の方に花巻の魅力を伝えることができ、受益機会と費用負担については公平と考えられる。
総合評価 …上記評価結果の総括	
・本事業の構築にあたっては、平成27年3月に賢治のまちづくり委員会を中心とした「宮沢賢治生誕120年記念事業検討委員会」が発足し、以来、9月まで記念事業の内容について計7回の検討会議を開き、事業の検討が重ねられた。 ・検討委員会の検討結果を基礎として、さらに魅力ある事業を構築・実施するため、11月4日に花巻市と花巻商工会議所や花巻観光協会、賢治関連団体など民間8団体から成る「宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会」を設立。賢治と「賢治のまち花巻」を広く市内外へ発信するとともに、市の文化・芸術及び地域の活性化に資することを目的として、具体事業の構築が行われた。	

平成 27 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
1	2	1	16	0410	宮沢賢治生誕120年記念事業

単位：千円

		26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費			2,714		2,714
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源		2,714		2,714

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	------	-----------------

部重点施策における目標

芸術文化の振興に努めます。

事業開始の背景・経緯

花巻市の強みである宮沢賢治を活かしたまちづくりの一環として賢治生誕120年の節目に公民が連携して記念事業を実施するため、平成27年度に市および民間団体で組織する宮沢賢治生誕120年記念事業検討委員会において事業内容を検討。この結果を受け11月4日、市及び民間団体で実行委員会を組織。

事業概要

○宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会負担金 2,714千円
(事業) 記念事業開催負担金

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

宮沢賢治生誕120年記念事業を内外に発信するため、公共・民間を問わず、さまざまな機関と連携したPRが必要であると考え。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 賢治まちづくり課 担当係長 長山義博 内線 371
(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【事業内容及び事業費】

平成27年3月に立ち上げた宮沢賢治生誕120年記念事業検討委員会では、9月まで計7回にわたり検討を重ね、検討結果が出された。これを受け今後、実行委員会を立ち上げ、平成28年に向けた具体的な取り組みを開始した。
平成27年度においては、本格実施に向けたPRを開始した。

宮沢賢治生誕120年記念事業実行委員会 運営負担金 2,714,000 円

●実行委員会スケジュール

- ・ 設立・第1回実行委員会会議 平成27年11月4日
→ 事業フレーム決定
- ・ 第2回実行委員会会議 平成28年1月21日
→ 平成27年度収支予算、ロゴデザイン募集、賢治の短歌百首カルタ作成の決定
- ・ 第3回実行委員会会議 平成28年2月22日
→ メーン事業実施、童話村ライトアップ実施、オープニングイベント実施、飲食の提供について決定
- ・ 第4回実行委員会会議 平成28年3月23日
→ 平成27年度予算の繰越し、平成28年度収支予算、ロゴデザインの決定

※ 上記実行委員会会議の前には、担当国会議を開催し、協議を実施

- ・ 第1回担当国会議 平成27年12月18日
- ・ 第2回担当国会議 平成28年1月21日
- ・ 第3回担当国会議 平成28年2月15日
- ・ 第4回担当国会議 平成28年3月14日

●負担金内訳

項目	予算	実績	繰越	備考
ホームページ制作・運営費	540,000	283,880	256,120	
チラシ・ポスター制作	359,000	108,000	251,000	
チラシ・ポスター印刷				
ロゴ募集に係る謝礼	100,000		100,000	不執行→市が支出
ロゴ デジタルデータ化	65,000		65,000	
フラッグ制作	1,620,000		1,620,000	
郵送費・消耗品費等	30,000	18,120	11,880	
計	2,714,000	410,000	2,304,000	

ロゴデザインは、商標登録調査に時間を要したことから、平成28年度(4月)に決定時期がずれれたことから、これに関連する事業費を次年度に繰り越した。